

令和5年度第2回唐津市行政改革推進会議 次第

令和6年2月19日（月）

10:00～

1 開会

2 議題

- (1) 日報管理表について
- (2) 火葬場の運営状況について
- (3) 民間委託等の推進に係るガイドラインについて

3 閉会

日報管理の目的

職員の適正配置

1年間の業務量を調査することで、職員又は会計年度任用職員の適正な人員配置を検討する材料とする

組織機構の再構築

各課にヒアリングを行うことで、課・係の新設、分離、統廃合などの意見を確認する

外部委託の検討

マニュアルがあれば担える業務と事業立案など正規職員しかできない業務を把握し、外部委託業務を検討する材料とする

今後の調査分析方針

最終報告書に向けて、以下の4つの観点を中心に調査・ヒアリング・分析を進めます。
(令和6年9月～予定)

■観点1 業務効率化について

正規職員の「定型的業務」（マニュアルがあれば担える業務など）を「正規職員以外」に任せ、事業立案など正規職員にしかできない「非定形的業務」に時間を割くことができないかを調査します。

- ex 会計年度任用職員や再任用職員に任せることができないか。
各課を自由に動くことができる会計年度任用職員を採用できないか。
業務の一部又は全部を外部委託できないか。
庶務業務を一括で行う総務事務センターのような部署をつくれぬか。

■観点2 業務増大の可能性について

今後業務量が大幅に増大する可能性を確認します。

■観点3 突発的・イレギュラー等で増減した業務について

感染症等の影響でイベントや衛生関係など通常とは大きくかけ離れている状態であるなど、例年では想定されていない業務量の増減を確認します。

■観点4 組織機構について

課・係について、新設・分離・統廃合などの各課意見を確認します。また、市民センターのあり方を検討していきます。



概要版

唐津市民間委託等の推進に係る ガイドライン

目次

- 策定趣旨 2
- 民間委託等の考え方 3
- 導入の視点（民間委託等を推進する目的・メリット） 4
- 業務区分の整理 5
- 民間委託等の導入検討プロセス 6
- 他自治体の先進事例 10